

### 笠井順八翁像周辺のクリーン作戦（小野田中学校）

小野田中学校では、生徒会主催で毎月1回学校周辺のクリーン作戦を実施しています。今回は校区内にある本市名誉市民である笠井順八翁像周辺の清掃活動を行いました。寒風の中、30名を超えるボランティア生徒ががんぜきや竹ぼうきなどを使って落ち葉を掃き集め、軽トラ5台分にもなりました。このように、生徒会の呼びかけに対して積極的に参加することは、地域貢献になるだけでなく、ふるさととつながるという意識を涵養することにもなり、地域に愛される小野田中生の育ちを実現していくこととなります。



### メルヘンサークル読み聞かせ会（埴生小学校）

チリリ、チリリン。埴生地域交流センターの生涯学習クラブ、メルヘンサークルの読み聞かせ会が始まりました。児童は、『おどろき、もものき』という本の「はやおき、はみがき、せんめんき」、「いっぴき、にひき、まめだぬき」などの言葉のリズムを楽しんだり詩の中の比喩を味わったりしました。また、日本昔話『ねずみ経』の語りを聞き、場面の情景を想像したり話の展開を予想したりして、本の面白さにすっかり引き込まれていました。「全部面白かった。今度、図書館で借りて読もうと思った」との感想が聞かれました。



### がん教育（小野田小学校）

山口県のがん検診の受診率が全国で最下位ということから、小野田小学校6年生に山陽小野田市民病院の外科医によるがん教育が行われました。がんが治る確率は何%か、がんにかかる日本人は何人に一人の割合かなどの質問に対して、児童は真剣に答えていました。また、小学生でもがんにかかることがあると聞いた時には、えっと驚いた様子でした。がんは、早く発見すれば治る可能性が高い病気なので、40歳になったらがん検診を受けることや家族にも受診するよう勧めることを学びました。

